

カーボンリサイクル・次世代火力発電の技術開発事業

令和5年度予算額

176 億円 (170 億円)

事業の内容

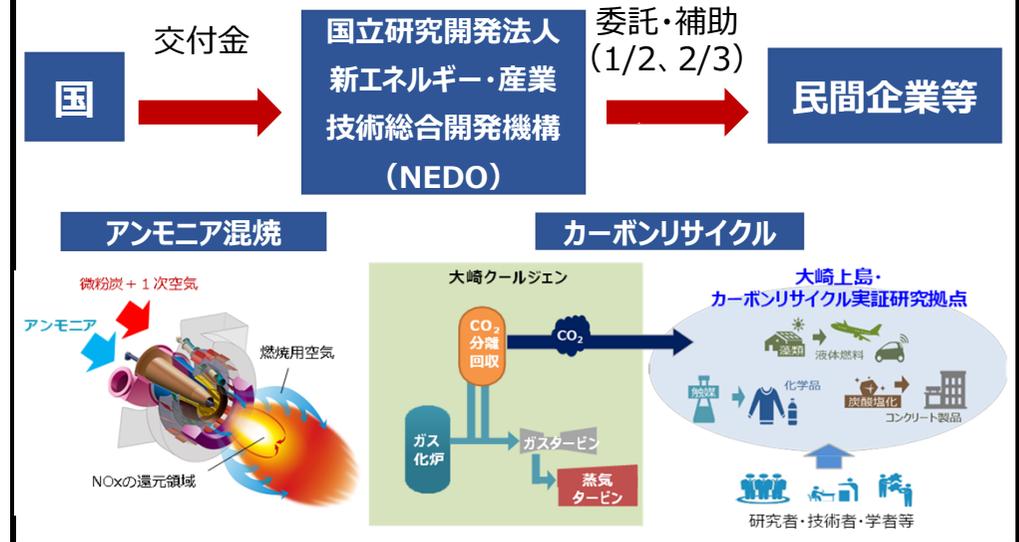
事業目的

第6次エネルギー基本計画において、「2050年カーボンニュートラル実現に向けては、火力発電から大気に排出されるCO2排出を実質ゼロにしていくという、火力政策の野心的かつ抜本的な転換を進めることが必要である」とされており、その対応のための技術等の早期確立を目的とします。

事業概要

S+3Eを大前提に、2050年カーボンニュートラル実現に向け、石炭とバイオマスの混合燃料によるガス化などの次世代の高効率石炭火力の更なる低炭素化やCO2を排出しないアンモニア混焼等の技術開発を実施します。また、カーボンリサイクル技術ロードマップに基づき、CO2削減が達成されること、既存の商品と価格競争力を持つよう低コスト化することを目標に、火力発電所等から発生するCO2の分離・回収技術や有効利用技術といったカーボンリサイクルに係る技術開発を実施します。

事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)



成果目標

令和5年度から令和8年度までの事業であり、脱炭素型の火力発電の置き換え等に資する技術開発に取り組むことで、最終的には2050年カーボンニュートラル実現を目指します。